

お馴染み大好評のニューイヤーコンサートが今年も来日!

NEW YEAR 2018 宮殿祝賀コンサート

ウィンナー・ワルツ オーケストラ

新年の幕開けは幸せを呼ぶウィンナー・ワルツ!
胸躍るシュトラウスの音楽で甦る
きらびやかなウィーン舞踏会の世界。



<出演>
サンドロ・クトゥレーロ (指揮)
ウィンナー・ワルツ・オーケストラ
ダンサー4名、ソプラノ歌手1名

<予定プログラム>
美しく青きドナウ
ウィーンの森の物語
ピチカート・ポルカ
ワルツ「ウィーン気質」
クラップフェンの森で
雷鳴と稲妻 ほか

2018年1月12日(金) 開演19:00(開場18:30)

倉敷市芸文館

●主催/光藍社、倉敷市芸文館
●お問合せ/倉敷市芸文館 ☎086-434-0400

光藍社チケットセンター ☎050-3776-6184

全席指定(税込)

6,000円

9月21日(木)前売開始!!

プレイガイド

倉敷市芸文館(窓口販売のみ) ☎086-434-0400
アルスクらしきチケットセンター ☎086-434-0010
光藍社チケットセンター ☎050-3776-6184
<http://www.koransha.com/>(座席指定OK)

チケットぴあ ☎0570-02-9999
イープラス <http://eplus.jp/>(パソコン&ケータイ)
セブン-イレブン 店内マルチコピー機にて販売

※未就学児はご入場いただけません。
※都合により、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。

音楽の都、ウィーン伝統のワルツで華やかに迎える新年 ドレスコードも知識もいらない、手拍子をしながら楽しめるコンサート 2018年の幕開けは「ウィナー・ワルツ・オーケストラ」にお任せ!

大晦日、時計の針が10時を指したウィーン・ホーフブルグ宮殿。「ル・グラン・バル(大舞踏会)」の始まりだ!この舞踏会を皮切りに、年明けから3月初旬までウィーン市内で開かれる数々の舞踏会。外は厳しい寒さだが、宮殿の中は暖かい空気と和やかな笑顔、笑顔、また笑顔。

そして舞踏会と言えばドレスコード。男性は燕尾服やタキシード、女性は華やかなボールガウン(舞踏会用ドレスやロング・イブニングドレス)に身を包み、煌びやかに着飾る。ウィーンの名だたる舞踏会はこれが決まりだ。流れる音楽はもちろん、ヨハン・シュトラウス2世をはじめとしたウィナー・ワルツやポルカ、カドリュー、行進曲。ちょっぴり堅い格式の中にも、新しい年を迎えた喜びにあふれる。

今年もウィナー・ワルツ・オーケストラがそんなウィーンの新年の香りと喜びを携えて、2018年のニューイヤーにやって来る。これで2000年から19年連続の来日だ。もはや彼らのステージなくして「日本のニューイヤー・コンサート」を語ることはできなくなった。

ウィーンで活動を続けるこのオーケストラを率いてくるのは名物

指揮者のサンドロ・クトゥレーロ。お客様を楽しませることが大好きなエンターティナーだが、聴かせる音楽に妥協はしない。シュトラウス一家の音楽とウィーンを代表する名曲を軽快で鮮やかに響かせる。そして曲に合わせて踊る4人のダンサー達。曲ごとに衣装を変え、ワルツでは優雅に舞い、ポルカではリズムカルにステップを踏み、多様な演出で会場を魅了する。もちろんソプラノ歌手の美しい歌声も聴きどころ。気品がありながらもチャーミングに歌うのはやはりこのニューイヤーコンサートならではの。指揮者クトゥレーロの茶目っ気たっぷりのジョークやパフォーマンスにもご注目。新年の幕開けにびったりの見て楽しい、聴いて楽しい最高にハッピーなコンサートをお届けします。

♪ワルツ…3拍子の舞曲
♪ポルカ…2拍子の舞曲
♪カドリュー…19世紀に流行した4組の男女で踊る舞曲。
通常、拍子や速度の異なる5曲で構成される。
♪行進曲…行進に合わせて演奏される曲、
または行進の情景を描写する曲。



サンドロ・クトゥレーロ (指揮者)

1961年、イタリアのトロペアに生まれる。1980年、ローマのサンタ・チェチーリア国立音楽院においてセルジオ・ペルティカローリにピアノを師事。その後、ローマ大学で政治哲学を専攻し、優秀な成績で博士号を取得。1985年よりウィーンに移り、ピアニスト、作曲家および指揮者として更なる研鑽を積む。

1990年、「ウィナー・ワルツ・オーケストラ」を設立。1994年にコンツェルトハウス、1997年には楽友協会ホールなど、ウィーンの名なコンサートホールにおいて数多くのコンサートを行った。

1996年、イタリアでベネチア室内管弦楽団を設立。ヴィヴァルディの「四季」のようなバロック作品の演奏を得意とするこのオーケストラは、ベネチアで大きな成功を収めた。

1997年にはブラハ・モーツァルト・オーケストラを設立。芸術監督としてブラハに招かれ、ブラハ・スタヴォフスケ劇場やドルフィナム、スメタナ・ホールなどの重要なコンサートホールにおいて、モーツァルトの交響曲およびオペラのコンサートを開催した。

これら3つのオーケストラは、中国の南寧国際フェスティバル、韓国のソウル・アーツ・センター、東京のオペラシティや日本の有名なホールでコンサートを行い、好評を博している。

ソリストおよび指揮者として、W.A.モーツァルト、J.シュトラウス、A.ヴィヴァルディの作品の演奏を数多く録音、ピアニスト兼指揮者として精力的に活動している。

さらに哲学と文学の分野でも才能を発揮し、彼の詩集は評論家などからも絶賛されている。

ウィナー・ワルツ・オーケストラ

「ウィナー・ワルツ・オーケストラ」は、日本でもすっかり馴染みのサンドロ・クトゥレーロにより、宮殿での祝賀コンサートを機に設立された。クトゥレーロ氏の「ワルツへの愛と情熱」に賛同した才能溢れる演奏家が彼のオーケストラに参加。ウィナー・ワルツのルネッサンス(復興)をモットーに、シュトラウスのウィナー・ワルツを最高の形で観客の皆様にお届けすることを目指している。

オーケストラは約25名の弦・木管・金管・打楽器により構成され、さらに曲によってバレエ・ダンサー、歌手が登場し、楽しい踊りと美しい歌声が雰囲気盛り上げ、ウィナー・ワルツをより楽しませてくれる工夫がなされている。

「ウィナー・ワルツ・オーケストラ」は、ウィーンの優れたシュトラウス・アンサンブルの一つに数えられ、観客の多くがウィーン情緒たっぷりのこの公演を楽しみにしている。多種多様な演出も楽しみのひとつであり、過去18回の来日公演も大好評を博した。

【ダンサー4名、ソプラノ歌手1名出演予定】

ご注意とお願い

- ・会場内における飲食、喫煙はご遠慮下さい。
- ・写真撮影、録画、録音等は禁止させていただきます。
- ・未就学児童のご入場はお断りいたします。
- ・開演後のご入場は制限させて頂く場合がございます。
- ・都合により曲目が変更する場合がございます。ご了承下さい。